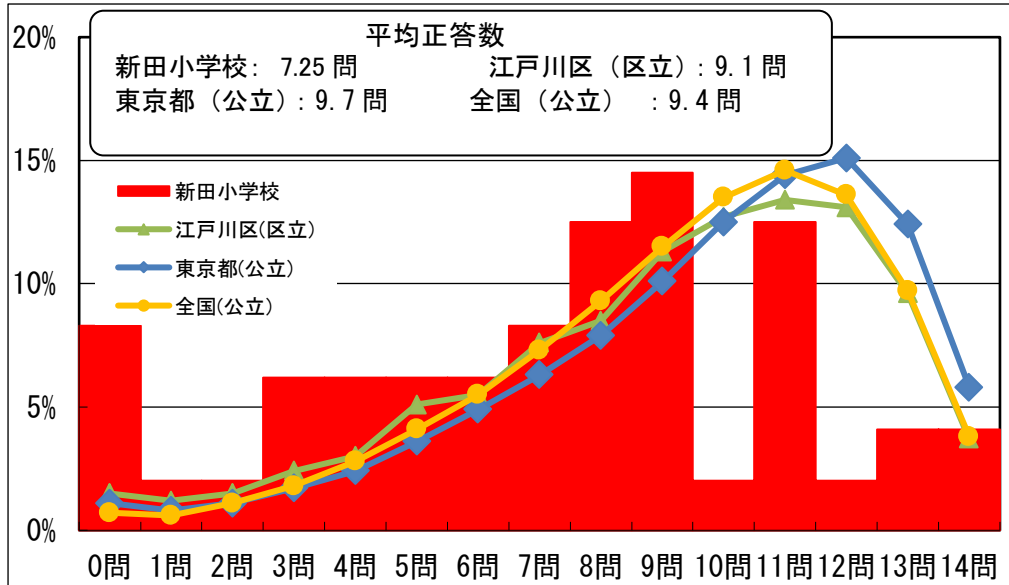


令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 新田小学校

正答数分布



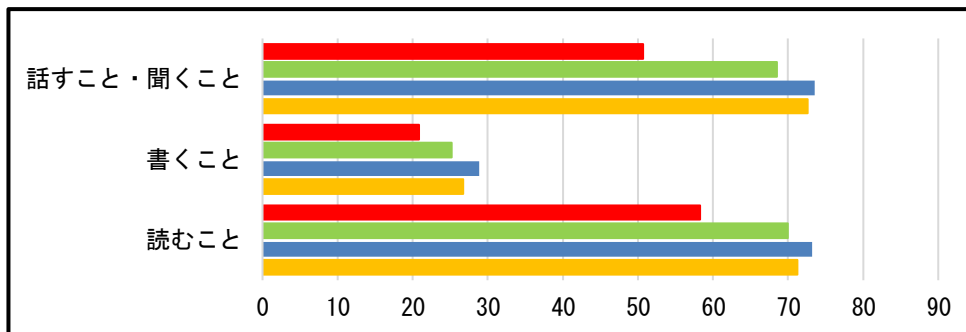
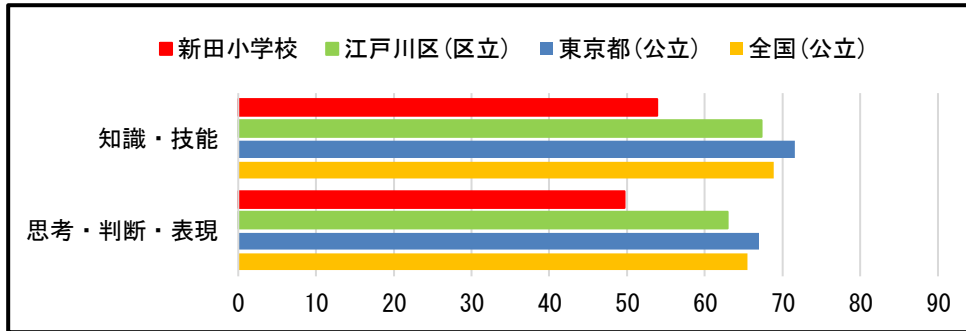
＜四分位における割合(都全体の四分位による)＞

上位 ← → 下位

国語	A層 12～14 問	B層 10～11 問	C層 8～9 問	D層 0～7 問
新田小学校	10.4	16.6	27.2	45.8
江戸川区（区立）	26.4	26.1	19.8	27.7
東京都（公立）	33.3	26.9	18.0	21.8
全国（公立）	27.1	28.1	20.8	24.0

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都（公立）のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

新田小学校	52%
江戸川区（区立）	65%
東京都（公立）	69%
全国（公立）	67.2%
都との差	17ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

本校の正答数分布は、全国、東京都、江戸川区と比較するとA層とB層の割合が低く、C層とD層の割合が高い傾向がある。3問目～9問目までの正答数は全国、江戸川を上回っているが、その後の正答数で差が見られる。知識・技能、思考・判断・表現ではともに課題が見られる。書くことは他の数値に比べると全国・東京・江戸川の数値に近い。この結果を受け、知識・技能、思考・判断・表現の向上を図るため、児童の課題意識を高めた上でめあてを設定し、自分自身で考え、課題解決ができる活動を設定する。話すこと・聞くことでは、活動の視点を明確にして、指導を行う。